

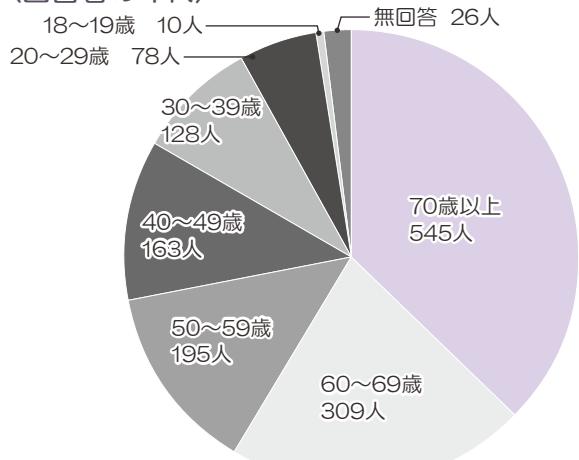
第6次置戸町総合計画策定に係わる町民アンケート調査結果について みんなが考えるおけとの現状とまちづくりの課題

今回の調査は、町内に住む18歳以上である2,442人を対象とし、調査票を各世帯へ8月14日に郵送しました。回収票数は1,454票、回収率は59.5%でした。回答者の性別は、男性が47%で女性が51%となっています。

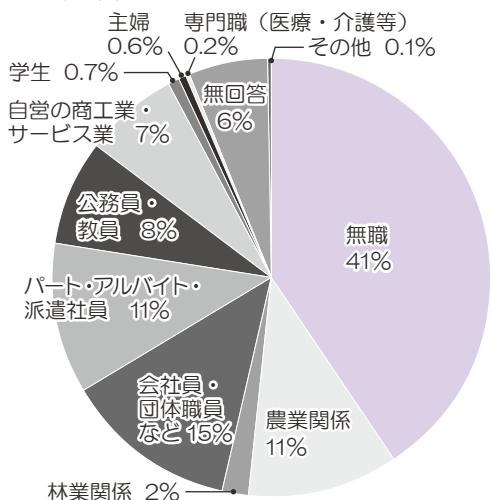
調査票の回収方法は、自治会を通じた回収と各地区公民館など6カ所の公共施設に設置した回収箱による回収が、ともに43%でした。初の試みであるインターネットによる回答は、14%（202件）でした。

回答者の年代は、60歳以上が58.7%となっています。

〈回答者の年代〉



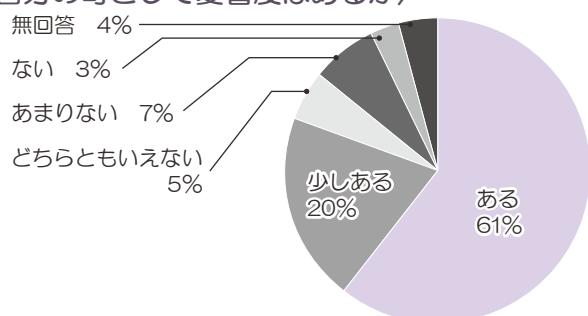
〈回答者の職業〉



おけとに愛着を持つ人は8割以上

置戸町に自分のまちとしての愛着度はあるかとの問いに、「ある」または「少しある」を選択した方が全体の回答の80%の割合を占め、多くの町民が置戸町に愛着を持っていることがわかります。さらに年齢が高くなるにつれて愛着を持っている方の割合が高くなっています。

〈自分の町として愛着度はあるか〉



おけとは自然環境に恵まれたまち

置戸町のよいところはどんなところだと思うかとの問いかには、「山や川などの自然環境がよい」がダントツでトップでした。10~30歳代においては、「医療・福祉環境がよい」の割合は少なく、「魅力的なイベント・行事がある」の割合が高くなっています。

その他の意見としては、図書館やおけと勝山温泉ゆうゆ、パークゴルフ場などの充実、人が多すぎないところがよいなどの意見がありました。

〈町のよいところはどんなところだと思うか〉（3つまで選択）

